



2022年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年5月11日

上場会社名 株式会社グローバルインフォメーション 上場取引所 東
 コード番号 4171 URL <https://corporate.gii.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野 悟
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO兼管理部長 (氏名) 杜山 悦郎 (TEL) 044-952-0102
 四半期報告書提出予定日 2022年5月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年12月期第1四半期の連結業績(2022年1月1日～2022年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第1四半期	1,063	14.6	321	25.3	337	21.6	233	21.6
2021年12月期第1四半期	928	—	256	—	277	—	192	—

(注) 包括利益 2022年12月期第1四半期 233百万円(21.6%) 2021年12月期第1四半期 192百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第1四半期	79.30	79.03
2021年12月期第1四半期	71.65	70.23

(注) 2020年12月期第1四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、2021年12月期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年12月期第1四半期	2,727	1,912	70.1
2021年12月期	2,529	1,775	70.1

(参考) 自己資本 2022年12月期第1四半期 1,911百万円 2021年12月期 1,774百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期	—	0.00	—	33.00	33.00
2022年12月期	—	—	—	—	—
2022年12月期(予想)	—	22.50	—	22.50	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年12月期の連結業績予想(2022年1月1日～2022年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,110	17.2	649	25.8	663	19.9	437	21.9	148.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2022年12月期 1 Q	2,947,500株	2021年12月期	2,943,500株
② 期末自己株式数	2022年12月期 1 Q	41株	2021年12月期	41株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2022年12月期 1 Q	2,945,415株	2021年12月期 1 Q	2,680,933株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料 P. 3 「当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2022年1月1日~2022年3月31日)における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の新たな変異株による感染再拡大やロシア・ウクライナ情勢の悪化により、資源価格の高騰やサプライチェーンの混乱が発生し、経済環境の先行きに不透明感が高まっております。また、金融市場では、欧米主要国との金利差拡大や貿易収支の悪化による為替相場への影響等もあり、今後の方向性が注視されます。日本国内においては、3回目のワクチン接種が進み、感染抑制・重症化防止が期待されておりますが、感染症流行前の水準までの回復には未だ一定の時間を要するものと考えられます。

そうした中、当社が属する市場調査レポート出版業界においては、最新の市場動向調査レポートに対するニーズが益々高まっております。一方で、インド、中国系の調査出版会社の台頭や調査出版会社自身による直販部門のシェア拡大等が見られ、事業環境は常に変化しております。

このような状況の下、当社は当連結会計年度を初年度とした3か年の中期経営計画『GII Vision 2024』に基づき、商品面では、幅広い顧客ニーズに対応するため、WEBサイト掲載レポートラインナップ拡大に向けて外注業者の人員体制を強化いたしました。また、販売面では、ユーザビリティの向上を図るため、新たな取組としてレポート本文の翻訳を行うAI翻訳ツールの無償提供を開始いたしました。その他集客の面では、各種WEBマーケティング施策を行い、継続的な情報発信に注力いたしました。

株式会社ギブテックにおいては、LPWA通信に関する製品の販売やスマートファクトリー向け受託開発が順調に拡大いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,063,837千円(前年同期比14.6%増)、営業利益は321,871千円(前年同期比25.3%増)、経常利益は337,127千円(前年同期比21.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は233,559千円(前年同期比21.6%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(市場・技術動向に関する情報提供事業)

当セグメントは、取扱商品・サービスの違いにより、市場調査レポート事業、年間情報サービス事業、委託調査事業及び国際会議・展示会事業の4つに区分されております。以下には事業区分別の業績について記載いたします。

(a) 市場調査レポート事業

当社の主力である市場調査レポート事業は、本社部門において、日本国内の多くの顧客企業が決算期を迎える3月に向けて、日本語版WEBサイトの取扱い商品数の拡大や、AI翻訳ツールの導入等の各種営業施策を実施し、前年同期の売上高を上回りました。海外部門においては、韓国支店、台湾支店及び米国支店が好調に推移し、こちらも売上高が前年同期を上回りました。

この結果、市場調査レポート事業全体では、前年同期比14.3%増の914,034千円となりました。

(b) 年間情報サービス事業

年間情報サービス事業は、本社部門の売上高が前年同期と比較して下回るものの、海外部門の主要である韓国支店及び台湾支店が堅調に推移しており、売上高は前年同期を上回りました。

この結果、年間情報サービス事業全体では、前年同期比8.1%増の36,687千円となりました。

(c) 委託調査事業

委託調査事業は、高額の委託調査案件の計上が前年同期と比較して増加しており、本社部門、海外部門の両方において、売上高が前年同期を大きく上回りました。

この結果、委託調査事業全体では、前年同期比41.1%増の80,566千円となりました。

(d) 国際会議・展示会事業

国際会議・展示会事業は、国際会議・展示会が再開されるまで、人員等のリソースを他事業に振り向けており、本社部門、海外部門の両方において、売上高は前年同期をわずかに上回りました。

この結果、国際会議・展示会事業全体では、前年同期比2.2%増の1,571千円となりました。

以上より、当セグメントの売上高は前年同期比15.7%増の1,032,859千円となり、セグメント利益（営業利益）は319,258千円となりました。

（その他事業）

当セグメントにおきましては、株式会社ギブテックにおけるIoT（モノのインターネット）向け無線通信方式であるLPWA通信に関する製品の販売、受託開発等を主な事業にしております。当第1四半期の売上高は前年同期比13.5%減の30,977千円となったものの、セグメント利益（営業利益）については、採算性の改善により2,282千円の営業黒字となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ、197,868千円増加の2,727,602千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ、195,931千円増加の2,637,293千円になりました。この主な要因は、売掛金の312,033千円増加の一方で、現金及び預金の117,273千円減少等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ、1,936千円増加の90,308千円になりました。この主な要因は、繰延税金資産の2,187千円増加等によるものであります。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ、60,457千円増加の814,987千円になりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ、57,848千円増加の549,949千円になりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の112,015千円増加の一方で、未払法人税等の68,603千円減少等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ、2,609千円増加の265,038千円になりました。この主な要因は、役員退職慰労引当金の1,968千円増加等によるものであります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ、137,411千円増加の1,912,615千円になりました。この主な要因は、利益剰余金の136,425千円増加等によるものであります。

なお、自己資本比率は70.1%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年12月期の連結業績予想につきましては、前回公表（2022年2月10日付）いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,091,184	1,973,910
売掛金	256,142	568,176
商品及び製品	628	583
原材料及び貯蔵品	15,334	13,205
前渡金	62,301	71,063
その他	15,770	10,354
流動資産合計	2,441,361	2,637,293
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	24,350	24,168
工具、器具及び備品（純額）	2,681	2,960
土地	12,939	12,939
有形固定資産合計	39,971	40,068
無形固定資産		
商標権	181	175
ソフトウェア	2,982	2,809
その他	465	465
無形固定資産合計	3,629	3,450
投資その他の資産		
繰延税金資産	18,288	20,475
その他	26,482	26,314
投資その他の資産合計	44,770	46,790
固定資産合計	88,372	90,308
資産合計	2,529,734	2,727,602

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	95,231	207,247
未払金	13,799	15,049
未払法人税等	169,767	101,164
未払消費税等	62,793	83,085
前受金	116,509	105,640
賞与引当金	4,822	16,479
その他	29,175	21,282
流動負債合計	492,100	549,949
固定負債		
退職給付に係る負債	19,487	20,128
役員退職慰労引当金	242,942	244,910
固定負債合計	262,429	265,038
負債合計	754,529	814,987
純資産の部		
株主資本		
資本金	162,021	162,497
資本剰余金	141,283	141,759
利益剰余金	1,471,265	1,607,690
自己株式	△68	△68
株主資本合計	1,774,501	1,911,879
非支配株主持分	702	735
純資産合計	1,775,204	1,912,615
負債純資産合計	2,529,734	2,727,602

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)
売上高	928,336	1,063,837
売上原価	500,369	554,349
売上総利益	427,966	509,487
販売費及び一般管理費	170,987	187,616
営業利益	256,979	321,871
営業外収益		
受取利息	46	79
為替差益	16,010	7,991
債務勘定整理益	4,399	7,295
助成金収入	185	—
その他	26	1
営業外収益合計	20,668	15,367
営業外費用		
上場関連費用	266	—
その他	150	111
営業外費用合計	416	111
経常利益	277,231	337,127
税金等調整前四半期純利益	277,231	337,127
法人税、住民税及び事業税	94,123	105,721
法人税等調整額	△8,980	△2,187
法人税等合計	85,143	103,534
四半期純利益	192,087	233,593
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	33
親会社株主に帰属する四半期純利益	192,087	233,559

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)
四半期純利益	192,087	233,593
四半期包括利益	192,087	233,593
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	192,087	233,559
非支配株主に係る四半期包括利益	—	33

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、これによる利益剰余金の期首残高へ与える影響はありません。

また、収益認識会計基準等の適用による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	市場・技術動向 に関する 情報提供事業	その他事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	892,534	35,802	928,336	—	928,336
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	892,534	35,802	928,336	—	928,336
セグメント利益又は損失 (△)	256,657	△1,477	255,179	1,800	256,979

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、株式会社ギブテックから当社へ発生する業務委託費、支払手数料、地代家賃のセグメント間取引の消去1,800千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	市場・技術動向 に関する 情報提供事業	その他事業	計		
売上高					
市場調査レポート	914,034	—	914,034	—	914,034
年間情報サービス	36,687	—	36,687	—	36,687
委託調査	80,566	—	80,566	—	80,566
国際会議・展示会	1,571	—	1,571	—	1,571
その他	—	30,977	30,977	—	30,977
外部顧客への売上高	1,032,859	30,977	1,063,837	—	1,063,837
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,032,859	30,977	1,063,837	—	1,063,837
セグメント利益	319,258	2,282	321,541	330	321,871

(注) 1. セグメント利益の調整額は、株式会社ギブテックから当社へ発生する業務委託費、支払手数料、地代家賃のセグメント間取引の消去330千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、報告セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に變更しております。

当該変更による当第1四半期連結累計期間の報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に対する影響はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。